

経営比較分析表（令和元年度決算）

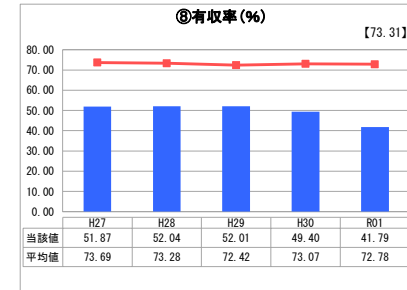
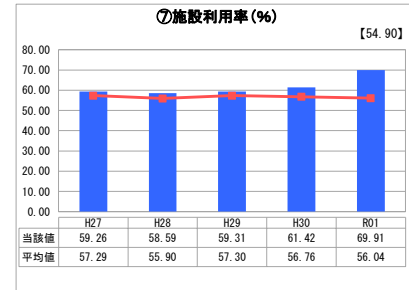
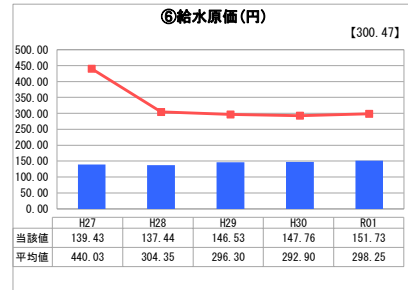
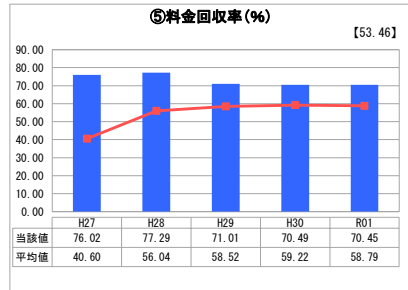
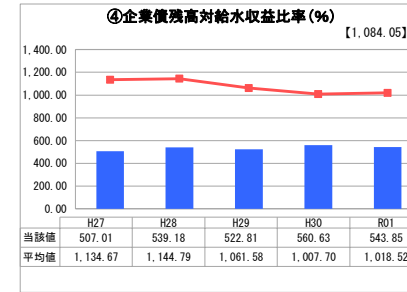
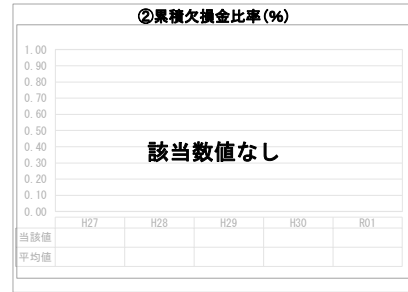
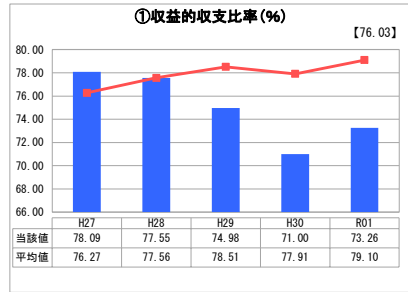
群馬県 東吾妻町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.04	1,760	

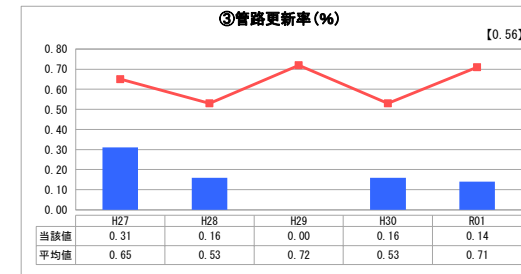
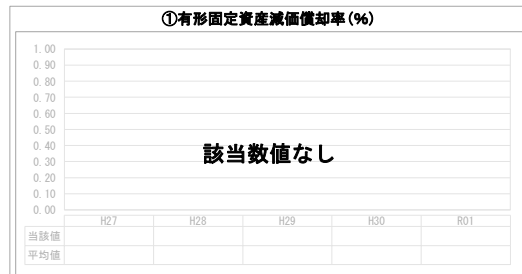
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,556	253.91	53.39
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,901	13.58	213.62

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
収益、費用に大きな変動が無いため、地方債償還金により影響する。機械設備更新で借入れた資金返済がR7年度まで上昇する。未収金の回収、更なる費用削減により経営していく必要がある。
- 企業債残高対給水収益比率
設備更新においては、過剰債の借入を行っている。償還年次が短いため借入を行うたび比率が上昇する。
- 料金回収率
収益、費用に大きな変動が無いため、地方債償還金により影響される。施設更新のため借入れた資金の返済がR7年度まで上昇する。繰入金によって収入不足を補填している状況であり、未収金の回収、更なる費用削減により経営していく必要がある。
- 給水原価
類似団体より低い状況であるが、投資の効率化や維持管理費の削減などの経営改善に取り組み、効率性の向上に努める。
- 施設利用率
類似団体より良い数値となっているが、施設規模の最適化に努めていく。
- 有収率
今年度2給水区において大きな漏水を修復し、以降配水量の減少が見られ一部改善が期待される。引き続き漏水等調査を進め改善に取り組む

2. 老朽化の状況について

- 管路更新率
経過年数や漏水状況等を考慮して、計画的に実施していく。なお、東吾妻町簡易水道の管路で石綿セメント管は無く、主に塩ビ管が使用されている。

全体総括

東吾妻町簡易水道給水エリアは、旧東村と旧吾妻町の山間部で形成されており、町内で特に人口が減少（料金収入の減少）している地域であるため、独立採算が非常に厳しい状況である。その中でも安心・安全の給水を維持する必要があり、今後は、H29年度に策定した「水道事業基本計画（新水道ビジョン）」及び「経営戦略」を基に、水道施設による給水サービスを継続していくために必要な補修、更新といった施設管理に必要な費用と、そのための財源を算定し、長期的視点に立った経営を目指す。